

■会津屋八右衛門
あいずやはちえもん
昌平饗始・・・1797＝

藩ぐるみの密貿易に夢をかけ、竹島が日本領であることも示したが、露見して死罪となった。

石見国浜田の松原浦で、代々の船乗りから廻船問屋に転じた会津屋清助の長男に生まれる。

げん報復・1806＝9歳：

・・・1815＝18歳：

水野忠成老中1818＝21歳：

群書類従完結1819＝22歳：父が藩の荷物を満載した船で大坂から江戸に向かう途中、紀州灘暴風雨に遭って沈没、船子とも死去すると、藩に多大の損害を与えたとして、廻船業の鑑札を取り上げられ、一家の身分も宗門帳から抹消される。

その困苦にもめげずに、家産を処分するなどして船子の遺族らに誠意を尽くして感服され、

シボト嶋瀧塾1824＝27歳：この年、息子竹次郎が誕生するなど、猟師などして生活していたらしい。

日本外史・・・1827＝30歳：この年、国元では藩財政危機を救うべく老齢の岡田頼母が家老に復職し、

シボト事件・1828＝31歳：この頃、*財政再建に万策尽きて密貿易に思い至ったその藩家老岡田頼母から、密貿易実行の最適者として突然の呼び出しを受け、脅しと懐柔に悩みながらも覚悟を決め、妻を離縁し、子は養子に出した後、露見時の責任回避のため八右衛門の発案とされた竹島密貿易に取り掛かるべく、熟練した沖乗りを配下にし、航海記録等をつぶさに研究した後、家老らと対馬藩に赴き竹島絵図を入手、

富籤流行・・・1830＝33歳：*ついに密貿易すべく竹島に向け出帆し大成功を納め、以後拡大して行くが、

天保大飢饉始1833＝36歳：

越後・薩摩・対馬藩なども密貿易に手を出していることが江戸市中で公然と語られるなど、当然、幕府評定所に知られることとなり、

・・・1836＝39歳：*大坂町奉行矢部定謙配下によって逮捕され、江戸に護送され入牢・死罪となり処刑された。関係者も次々呼び出しを受け、家老岡田頼母は切腹(実は証拠隠滅のため殺害されたという)。